

(作成中)



# 未来の大宮

未来の大宮を思う“僕”が語る、  
大宮創造物語

まちは、誰のためのものだろうか？

まちは、ここで生きている全ての人のためのもの。  
そしてその全ての人の人生の、  
一瞬一瞬を輝かせるためにある。

いいまちはどんなまちなのだろうか？

生活の土台となって、人々の暮らしや人生の助けになる場所。  
様々な出会いがあって、心躍る瞬間がある場所。  
いくつになっても挑戦ができる場所。  
心の支えとなる、みんなのふるさとである場所。  
日本と世界と繋がって、未来への可能性にみちている場所……。

まちに生きる全ての人の一瞬を、一日を、一生を、  
豊かで、幸せなものにする。  
そのためにまちはあるのだと、僕は思う。

進化の岐路に立つ、僕のふるさと大宮。  
進化の先にある大宮では、  
まちの人はどんな風に過ごしているんだろう。  
どんな暮らしを、人生を送っているんだろう。  
大宮は、人に、地域に、社会に、  
どんな幸せをもたらすことが  
できるんだろう。

もし、僕が未来の大宮を  
自由に描くことができたなら。

## まちのシンボルになる、 すごい駅と駅前

まずは、最高の駅をつくりたい。  
今の駅もすごいけど、未来の大宮駅は、  
より一層僕たちの心の真ん中にある。

駅や駅前のしつらえは、これまでに見たことがないくらい、  
偉大でうつくしく、未来的。  
世界中の人が息をのむ、背筋がしゃんと伸びるような、  
日本一すごい駅と駅前だ。

NYのグランドセントラル駅にも負けない、  
空から光が差し込む圧巻の吹き抜け。  
巨大なガラス窓から望む、  
何本もの線路が放射状に伸び、最新鋭の電車が並ぶ風景。  
まちの人が誇りに思う、堂々たる姿の駅前のビル群。

日本中から、世界からやってくる人々が活き活きと行き交い、  
まちは前向きなエネルギーであふれている。  
駅に降り立つと、未来へ向かう大いなる  
可能性を感じることができる。

駅と駅前は、見た目がすごいだけではなくて、  
大宮の象徴として、  
人々の暮らした人生を支える存在でもある。

日々の便利な買い物も、  
ハレの日の素敵なショッピングもできて、  
最先端のオフィスも、  
東日本のグルメが一堂に会するフードホールも、  
子育て世代を支える保育園や学童もある。  
大宮伝統のお祭りを楽しむことや、  
まちの歴史を知ることだってできる。

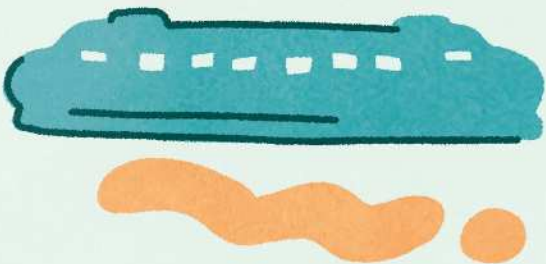
便利と、元気と、誇りを与える。  
偉大であたたかい駅と駅前。

そんな駅であれば、駅に着くたび誇らしく、  
明日に向かって元気が湧いてくるに違いない。



# みどりのまち

駅の周りには、  
僕の大好きな氷川の杜もりが感じられる、  
緑豊かな広場をつくる。



ここでは、おじいちゃんも、  
小さな子供連れのお母さんも、  
待ち合わせのビジネスマンも、  
本を読んだり、音楽を聴いたり、  
おしゃべりしたり、  
みんなが心地よさそうに過ごしている。  
小川が流れ、夏には虫がやってくる。  
もちろん、大宮の風物詩である  
お祭りのフィナーレはこの場所だ。  
ターミナル駅の前とは思えない、  
あたたかく、やさしく、  
豊かな時間が流れている。



広場の先には、  
心地いい風が吹き抜ける、  
緑の並木道が続いている。  
緑に誘われ、素敵なカフェや人々が  
くつろぐベンチが連なる道を進めば、  
日本一の参道と、氷川神社はすぐそこだ。

大宮公園や見沼たんぼまで足を延ばせば、  
体いっぱい大自然を体験することもできる。

このまちは、  
二千年前から変わることなく、  
氷川の杜からのいい風が吹き抜け、  
守られている、緑のまちだ。  
未来の大宮はその心を引き継ぎ、  
さらに潤いの緑でいっぱいにする。  
並木道を進み、振り返ってみると、  
緑の向こうに偉大な駅舎とビルが見える。

その姿は、僕の大好きな大宮らしい風景だ。



# 夢に燃える

未来に輝き続けるまちであるためには、  
僕のような、夢に燃える若者が欠かせない。

どうやったらそんな人々が集まってくるかって？



例えば、広大な見沼田んぼをフィールドに、  
大学と一緒にグリーンに関わる  
企業の実験ができたらどうだろう。  
もしくは、大宮台地に守られているのだから、  
災害の研究をする大学や  
ベンチャー企業が集まってはこないだろうか。  
熱く燃える志を持つ人や企業が集まって、  
けんけんがくがく意見を交わす、  
そういう拠点をつくればいい。  
大宮駅前に最先端のインキュベーション施設や、  
グローバルな教育機関ができたなら、  
日本中から、世界から  
夢に燃えるチャレンジャーたちが集まってくるに違いない。



企業人だけではなくて、  
こだわり強めの店主たちが、  
ここにしかないお店を開く。  
それもまた、夢に燃えるチャレンジだ。

例えば、大栄橋の高架下を、  
大宮でお店をはじめたい、チャレンジャーたちが  
集まる個性的な商店街にはどうだろう。  
そこは、昔からまちに暮らす人々と、  
大宮で新しく何かをはじめたい人々が、  
出会う場所にもなる。  
一緒にコーヒーを飲みながら、  
まちの未来について語りあうシーンが  
そこかしこで見られるようになる。



そんな未来の大宮は、  
挑戦と情熱に燃える人々が集まる、  
未来への可能性にみちたまちになる。



# たくさん、 楽しいぶらぶら歩き

未来の大宮には、色んな人が  
あちこちぶらぶら歩きまわって、  
楽しい時間を過ごすことができる、  
魅力的なスポットや体験であふれている。

史上最強の買い物便利を誇る駅前には、  
エンタメやグルメもますます充実、  
小さな子供連れでも  
楽しめるようになったから、  
多くの人が大宮めがけてやってくる。

ちよつと歩くとオシャレなカフェ、  
デートで使えるレストラン、  
いい感じの古着屋さんストリート。  
こだわりのパン屋さんやスイーツショップもあって、  
心地いい緑とでいい感じの緩い空気の中、  
ベンチに腰掛けコーヒー片手に  
ひとときのおしゃべり。

足を延ばせば、  
スポーツとキャンプが楽しめる話題の大宮公園で、  
ビール片手にスポーツ観戦、家族みんなでBBQ。

さいたま一の繁華街である南銀は、  
一本曲がった路地に小粋なお店がたくさん増えて、  
いい感じの横丁に。  
女性グループやデートのカップル、  
海外から訪れる人もたくさん増えた。  
そんな南銀で、僕は未来の恋人と、  
一緒にワインを傾けるだろう。  
夏にはたくさんのお店が路地にテーブルを広げて、  
まちがまるでひとつのビアガーデンのように盛り上がる。

多彩な顔がさらに深まり、  
様々な人が楽しめるまちに進化した大宮は、  
また来たくなる、語りたくなる、楽しいまちになる。



# 居場所をつくる

誰ひとり取り残さない、人にやさしいまちになりたい。

まず気になるのは、僕のおじいちゃん・おばあちゃん世代。

人生100年時代。

ライフステージの変化があっても、  
いくつになっても、生き活きと過ごしてほしい。

人が元気でいるためには、

社会の中で人と関わり、役に立てていると感じたり、  
やりがいを持って取り組める新しい何かと出会ったり、  
チャレンジできる環境が必要だ。

だから未来の大宮には、おじいちゃんおばあちゃんが、  
経験を活かして短く働いたり、

子供たちを見守れる、そんな仕組みがある。  
いろんな人と出会えたり、新しい趣味を見つけられたり、  
そんな場所もある。

健康でいてほしいから、運動できる場所も必要だ。

例えば芝川沿いを整備して、春には菜の花や桜に包まれて、  
ランニングやサイクリングができるようになったなら、  
健康づくりの日課となるだろう。

畑を借りて、友達と農業デビューもできるかもしれない。

子育ても仕事も、家族という

チーム一丸で頑張る僕のお姉ちゃん世代や、

海外から訪れ移り住む人々にも、

支え合える仕組みや安心して過ごせる拠点がほしい。

そんな風に、まちという大きな器の中に、

あらゆる人にとっての居場所がある。仲間がいる。交流がある。

それによって支えられ、誰しもが自分らしい人生を生きられる。

そんなまちを、形にしたい。



誇れる

田園都心大宮

潤いの緑と大都心の両立。  
豊かさの可能性にみちた  
日本一のまち。





もし、僕が未来の大宮を  
自由に描くことができたなら。

未来の大宮のコンセプトを、  
こんな言葉で綴ることにする。

誇れる田園都心・大宮

潤いの緑と大都心の両立。

豊かさの可能性にみちた日本一のまち。

それは、駅と駅前の大都心としての堂々たる姿が、  
まちに生きる全ての人の誇りと活力になるまち。

それは、大宮の歴史が受け継いできた、  
氷川と見沼に代表される

潤いの緑がもたらす心豊かな時間が過ごせるまち。

それは、新たなビジネスや

日本中から世界から訪れる刺激し合える仲間との出会いがあり、  
魅力的な挑戦が絶えないまち。

それは、多くの方が訪れて

まちを楽しく歩き回り、

大宮ならではの多彩な魅力を語りたくなるまち。

それは、ちいさな子供たちも、

おじいちゃんおばあちゃんも、海外から訪れる人も、

全ての人の居場所があり、交流があり、

心身ともに健やかに過ごせる、頼れるまち。

潤いの緑に包まれた大都心の中で、

生きる力の源となる豊かな暮らしの全部が揃い、

誰しもが生き活きと

自分の人生を生きることができる。

瞼の裏には、未来の大宮の輝く姿。

僕の夢が、現実のものとなりますように。

駅周辺街区のまちづくり、交通基盤整備、

駅機能の高度化を目的として、駅前区域の開発を中心とした

「大宮GCS化構想」プロジェクトが進行し、未来を決する岐路に立つ大宮。

この「未来の大宮」ストーリーブックは、

大宮GCS化構想を終った未来の大宮は、どのようなまちを目指すのか。

改めて私たちさいたま市の思いを市民の皆さまと共に描き、

共有するために制作をした本です。

このストーリーブックを指針として、街づくりに関わる皆さま、

市民の皆さまとともに、より素晴らしい未来の大宮を

一つ一つかたちにしていくことを志します。

## 未来の大宮

未来の大宮を思う”僕“が語る、大宮創造物語

発行日：2023年\*月\*日

制作：さいたま市さいたま市都市局

企画・構成・文：柴田陽子事務所

デザイン：オーフラット株式会社

イラスト：三平悠太

発行者：さいたま市

© Saitama City, 2023. Printed in Japan